

## 2025年度 一般社団法人野洲青年会議所

### ひとまちづくり委員会事業計画書

委員長 片岡 知也 担当副理事長 吉川 卓実

副委員長 奥野 喬裕

委員 加賀爪 良真、堀田 康平、寺田 智愛、土肥 広典

委員会予算 ¥650,000-

#### ① 2025年度事業方針

現在、野洲市の人口の半数以上が市外からの転入にも関わらず、市民意向調査では市民の大半が今後も野洲に住み続けたいという回答結果があり、このことから野洲市は居住に適した住みやすいまちであると考えます。一方で、まちづくりに対しては関心が少なく、利己的な考えから市民活動にも消極的であり、このままではまちに活気が無くなってしまいます。野洲市を活気がある持続可能なまちにするためには、次世代を担う市民のまちづくりに対する主体性を醸成していく必要があります。

そこで、本年は、まちづくりにおける市民の意識を参加者から当事者へと変革すべく、市民が主体となり取り組めるまちづくり運動を推進します。そのために、まずは、身近な方々に我々の想いを示す場を設けることで、運動への理解を広げます。また、子育て世代には、安心して子供を生み育てられるまちづくりを掲げ、教育機関や行政と連携をとるなかで、住みよいまちのイメージを共有し、まちづくりの機会を創出します。そして、共に創り上げるまちづくり事業を実現し、体験から得られる喜びをもに分かち合い、まちづくりを積極的にしたいと思える意識変革を起こしていきます。

持続可能なまちとは、多種多様なつながりが存在し、全ての市民が安心して生活できるような仕組みが形成されたまちであると考えます。まちづくりの成功体験が、一人ひとりの行動の変化をもたらし、さらに大きなまちづくり運動となります。ひととひととの心あるつながりの実現に信念をもって挑戦いたします。

#### ② 2024年度事業計画

1月 新年交流例会

4月 つながり形成事業例会

10月 市民を巻き込み意識変革を起こす事業例会

#### ③月別委員会活動計画

月	例会	対内事業	対外事業	委員会活動
1	○	○	○	4月例会協議
2				4月例会協議
3				1月例会決算報告・4月例会審議
4	○	○	○	
5				4月例会決算報告
6				10月例会協議
7				10月例会協議
8				10月例会審議
9				
10	○	○	○	
11				
12				10月例会決算報告

#### ④主たる活動（事業）の見込み予算

No.	活動（事業）項目	見込み予算	概要
1	1月例会	¥100,000-	会員・家族・シニアクラブ対象
2	4月例会	¥50,000-	会員・一般市民対象
3	10月例会	¥500,000-	会員・一般市民対象
	合計	¥650,000-	

#### ⑤その他

- ・例会タイムの企画、実施
- ・人財育成とひととの交流
- ・インパクトある事業の企画、実施
- ・野洲青年会議所メンバーの格好良さの発信
- ・会員間の積極的な交流
- ・まち、ひととの交流から会員拡大の実施
- ・SNSでの情報発信内容の考案

・例会の設営

【 前回までの流れ(意見と対応) 】

第2回 執行部会 2024年10月 1日 協議

意見1：ビジョンや所信の説明になっていると思うので、委員会方針として記載いただけるよう、再考をお願いします。

対応1：文章全体を再考します。

意見2：事業計画の記載をお願いします。

対応2：1月例会と10月例会の記載をしました。

意見3：委員会予算は、ひとまちとして年間65万円で予算の計画をお願いします。

対応3：1月例会で15万円、10月例会で50万円を予算として記載しました。

意見4：委員会開催日の記載は実態に沿わないため、事業計画から削除してください。

対応4：事業計画書から削除しました。

意見5：方針の文字数は800字程度で依頼しているため、720～880字で記載をお願いします。

対応5：文章を精査して修正します。

意見6：方針の段落構成は、新年、変革、朝鮮、未来に沿って、検討ください。

対応6：全体を見直し、修正しました。

第2回 理事会 2024年10月16日 協議

意見1：「町」と「まち」と「街」を使っているのに何か理由はありますか、使われている意味を教えてください。

対応1：街と町の使い方の意識をしておりませんでした。指摘いただいてから調べ、改めて認識しましたので変更しました。

意見2：「都会に隣接し居住に適した設備が多くあり、住みやすい環境が整っています」「地域の発展に積極的に取り組んでいる市民が多くいる」こちらの根拠はありますか。客観的な事実ですか。

対応2：都会に隣接し居住に適した設備が多くあり、住みやすい環境が整っています。前者に関して令和2年に行われた野洲のまちづくり（都市計画）に関する市民アンケート調査結果より表記しております。

後者に関しては、地域の発展に積極的に取り組んでいる市民が多くいる、

はJCを含め私がこの3年で経験に基づく主観になります。調査研究改めてしたうえで改めて再考して参ります。

意見3：人口増加、持続可能なまちづくり、まちの活性化、同じことを指していますか。住み分けやスキームはありますか。

対応3：同じ認識ではありません。人口増加はあくまでも1年後以降の結果と効果持続可能なまちづくり まちの活性化は委員会で実行する、野洲の魅力を認識し伝える市民を作ることでそれが繋がって広がっていくので持続可能なまちづくり、活性化につながっていくと考えております。

意見4：頼れる存在とは誰に対するどのような存在のことを言っていますか。全てです。市民に対して市民 市民に対して各団体組織 市民に対してJC各団体にたいしてJCその逆もあります。

意見5：真の魅力とは何ですか。

対応5：本年は野洲が健やかなまちという魅力を市民と共に創造し感じてもらうことを真の魅力と致します。

意見6：1月例会の感謝について、文章内に感謝について記載がありませんがどのように考えているのかを教えてください。

対応6：再考し1月新年例会～想いを共にSmileUPとなっております。本年のさらなる運動の拡大のために、まずは日頃の支援に感謝を伝えると同時に、交流を通じてJC活動への理解を深めて頂くことで、今後もよりよいご支援を賜れる関係構築をはかる例会を致します。

意見7：市民主体で大きく巻き込みたい、10月例会1発の事業として考えていると思うが、スケジュール感を教えてください。

対応7：再考の結果現時点では10月1回の事業では課題解決に到達できないと判断しており5月、10月の計2回の事業例会を視野に入れております。

意見8：スケジュール感が必要、10月例会ではどこまでの事を想定していますか。認識した上で伝えられる市民をつくるのか、どこまでやるのか教えてください。

対応8：10月例会が終わった時点で野洲が健やかなまちという魅力を市民と共に創造し感じてもらうことを致します。

意見9：この時点で野洲の魅力を統一しておかなければならない、野洲の真の魅力はなんですか。

対応9：承知しました。野洲が魅力とは安心して暮らせ、心身ともに健やかなまちのことです。

意見10：1年を通して魅力を昇華していくということ、概念的なので比較が難しいので昇華までの道筋を分かり易くしてください。

対応10：市民がまちづくりの当事者になってもらい、その為にコミュニティの価値を明確にし、意識変革をしていきます。身近な繋がりを活かし、当事者として参加する体験を通じて、自身や身近な方々に援助していけるひとを増やしあたたかいコミュニティを実現。そして安心して暮らせる健やかなまちづくりを共に創っていきます。

意見11：人口増加の具体的なイメージはありますか。

対応10：人口増加は現在視野に入れてはおらず、健やかなまちができた後の効果だと考えております。

意見12：1月をあえて信念例会としている意味を教えてください。

対応12：再考しました。1月新年例会～想いを共にSmileUPとなっております。本年のさらなる運動の拡大のために、まずは日頃の支援に感謝を伝えると同時に、交流を通じてJC活動への理解を深めて頂くことで、今後もよりよいご支援を賜える関係構築をはかる例会を致します。

意見13：専門学校や道路開通について教えてください。

対応13：高等技術専門学校というカテゴリで初めてです。

意見14：居住に適した設備が多くあるだとエアコン等の認識になるのですが誤解が生まれませんか。

対応14：方針を再考し変更致しました。

意見15：ベッタウンはいい意味で使っていますか。こちら主観になりませんか。悪い意味になりませんか。

対応15：主観になるため、変更致しました。

意見16：2段落目1年間で野洲の魅力を認識し伝える市民を増やすことを目指します。1段落目にはないため、これを目指されたこれの一番大きな理由はどれですか。

対応16：再考しました。限られた範囲でしかコミュニティ活動が形成されておらず、ひととひととの関係性が希薄になってきており、現状健やかなまちとは言い難い為です。

意見17：1段落目を全てかえたほうが良いと思います。あたたかさを伝えることに繋がっていないので、温かさにもふれる機会を得るのを一番の目的にするならば、1段落目は関係がないからです。

対応18：背景を変更致しました。

意見19：あたたかさが市民同士で実感が無いのが問題であり、最初にやるのはひと

づくり、2段落目に流れが短絡的で運動としての未来が見えてこない。どうやってあたたかさを野洲市民が広げていきますか。

対応19：価値を明確にしたコミュニティを作成します。参加者としてではなく当事者としての参加をする体験をすれば、その後自身や近い方に対して支えあうことが可能になり、それがあたたかさになると考えております。

意見20：4段落構成の意図を教えてください。

対応20：1信念2変革3挑戦4未来です。

意見21：変革部分が大事、野洲市外から見た時に、野洲市がどう思われるかを想像して構成して欲しいです。

対応22：文章を修正致しました。

意見22：挑戦の要素が例年と変わらないように見える。一番メスを入れたい対象者と意識を教えてください。

対応22：対象者はまちづくりに興味がある自治体等のコミュニティに参加していない方を中心に、参加者から当事者としての意識体験をしてもらいます。

意見23：3段落目で一番インパクトのある部分教えてください。

対応23：当事者として参加する体験を通じて、自身や家族の生活、またその方の身近な方々に援助していけるひとを増やし、あたたかいコミュニティを実現。

意見24：「われわれJC」は重複するため、特に意味がなければ「われわれ」だけでいいと思います。

対応24：変更しました。

意見25：ひととまちがひらがなである理由を教えてください。

対応25：人と街と記載すると、ひとつの街、一人の人になる、そうでなく、多くの街と人をつなぐため。よりおおきな繋がりを指す言葉としてひらがなの統一文言をつかっています。

意見26：5年後の高専等の流入人口のために、今年で動いても意味がないのではいでしょうか。

対応26：5年後の為に、今できる事を進めていきます。

意見27：ひとまち委員会のかっこよさが表れている文面を教えてください。

対応27：誰かがいるからではなく、同じ想いを持っているひとがいるから集まり行動し輪を広げていける。そんな温かい街を様々な組織と集まり作っていきます。

意見28：ひとまちの考えるまちづくりの本質を教えてください。

対応28：ひとからひとへ ひとからまちへ。ひとづくりからまちづくりです。

意見29：2段落目 対市民に広げるには他団体との協力が必須だがハードルが高いと思います。教育機関と連携できる根拠、連携する事で得られるものを教えてください。

対応29：設備の提供依頼や学童公演の依頼などを考えています。

意見30：前の質問より、それだけでは本質をとらえたとは言い難い、アプローチ出来てなかった部分を捉える事業にしてほしいです。

対応30：全体を把握し対応していきます。

意見31：目的を果たすのに踏むハードルが多いので、それらを実現すスケジュールも必要。風呂敷を広め過ぎると達成も厳しくなるので、その点も少し加味してください。

対応31：精査し計画していきます。

### 第3回 執行部会 2024年10月29日 審議

意見1：5月例会が交流とかぶっているの、どうされますか。

対応1：4月に変更させていただきます。

意見2：本年度ひとまちづくり委員会は、ひとの温かさに触れる機会の創出を掲げておりますとありますが、現時点では掲げていません。この文章は必要ですか。

対応2：再考し変更致しました。

意見3：「ひと」と「人」、「つながり」と「繋がり」、「ともに」と「共に」、「作る」と「創る」、「もつ」と「持つ」など、整理して使い分けることと、統一文言など再度確認して修正をお願いします。

意見3：確認し修正しました。

意見4：つながりが希薄になっていると記載があるが、それがひとやまちにどう影響するため、何をしたいのかを書いてください。

対応4：地域に無関心なひとが増え、地域、まちの課題解決が難しくなってきます。多様な地域のひとを理解しつなげる機会を創りたいです。

意見5：2段落の1行目、健やかなまちという魅力という記載について、魅力が現在あるのかないのか、精査して前後の文章を精査してください。

対応5：ハード面での魅力がありますが、ソフト面での魅力がありません。前後の文章を精査しました。

意見6：大半が住み続けたいと感じているくだりはどういう意味で書いていますか。

対応6：ひととまちに対する課題を当事者として解決していきたい方が少ない矛盾を強調するために表記しています。

意見7：ひとがまちのなかでつながることで「そのまち」に魅力を感じるようになる。だからそういう機会を創出しよう。という計画ですか。

対応7：つながる意味を明確になれば、当事者としての運動になり、ひとづくりからまちづくりになり、まちの魅力になるという計画です。

意見8：限られた範囲のコミュニティは、つながり、ではないですか。

対応8：つながりが適正であるため、修正しました。

意見9：3段落目の最初、「一人でも多くの市民に、まちづくりの参加者から当事者になっていただくことに挑戦します。」が浮いている気がします。前段につなげてはどうか、検討ください。

対応9：文章を再考しました。

意見10：3段落目、まずは、JAYCEEとしての資質を発揮し、身近な人からまちづくりに対するイメージを共有します。この資質とはなんですか。

対応10：主にリーダーシップのことで。

意見11：3段落目、主語はだれですか。接続詞をいれるなど、どこまでを2025年度に考えているのかなど、伝わりやすいように再考してください。

対応11：訂正致しました。

意見12：当事者と援助していける人は同じですか。また、援助は、つながりなのか、利害関係なのか、それ以外の何かなのかを教えてください。

対応12：当事者と援助していけるひとは同じです。援助はつながりであり、助け合い支え合いも含まれます。

意見13：つながりを自分から創れる、発信できるひとが当事者と捉えますか。

対応13：自分ごとと捉えられるひとを当事者とします。

意見14：ブレークスルーする部分は、どこですか。

対応14：市民が主体となってまちづくりをしていただくことです。

意見15：対応16を受けて、もう少しそこを記載してください。

対応15：記載しました。

意見16：既存から、新たなつながりを生み出すとはどういうことですか。

対応16：当事者になれば行動が変わり、行動が周囲にとって刺激になります。影響を受けた方がまた新たなつながりを生み出すということです。

意見17：4段落目のそんなや、そうすることでという表現など、口語交じりの文章を改め、全体の構成を再考をお願いします。

対応17：修正致しました。